

第3学年 数学科 年間単元指導計画

時期	単元・題材名	配当指導時数	本単元で育成すべき資質・能力 (単元の学習内容)	単元の評価規準	評価方法	教材名	主な言語活動	各教科横断的な資質・能力の育成 に関わる他教科との関連
4、5月	多項式	19	①単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。	①単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	多項式の計算 因数分解 式の計算の利用	説明	
			②既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現すること。文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明すること。	②既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③式の展開や因数分解をする方法のよさを実感して粘り強く考え、多項式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
6月	平方根	16	①数の平方根の必要性和意味を理解すること。数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。	①数の平方根の必要性和意味を理解している。数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	平方根 根号をふくむ式の計算 平方根の利用	説明	美術の「黄金比」とのつながり
			②既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現すること。数の平方根を具体的な場面で活用すること。	②既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③数の平方根のよさを実感して粘り強く考え、数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
6～9月	二次方程式	15	①二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。	①二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができる。解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	二次方程式とその解き方 二次方程式の利用	説明	
			②因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現すること。二次方程式を具体的な場面で活用すること。	②因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。二次方程式を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③二次方程式のよさを実感して粘り強く考え、二次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			

9、 10月	関数 $y = ax^2$	17	①関数 $y = ax^2$ について理解すること。事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えられるものがあることを知ること。いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解すること。	①関数 $y = ax^2$ について理解している。事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えられるものがあることを知っている。いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	関数 $y = ax^2$ 関数 $y = ax^2$ の性質と 調べ方 いろいろな関数の利用	説明	理科「等加速度運動」とのつ ながり
			②関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。	②関数 $y = ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。関数 $y = ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③関数 $y = ax^2$ のよさを実感して粘り強く考え、関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、関数 $y = ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
10、 11月	相似な図形	23	①平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解すること。基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。	①平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	相似な図形 平行線と比 相似な図形の面積と体積	説明	社会「地形図」とのつながり
			②三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認すること。相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。	②三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確認することができる。相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③相似な図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
11、 12月	円	14	①円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知ること。	①円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	円周角の定理 円周角の定理の利用	説明	
			②円周角と中心角の関係を見だすこと。円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。	②円周角と中心角の関係を見だすことができる。円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③円周角と中心角の關係のよさを実感して粘り強く考え、円周角と中心角の關係について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、円周角と中心角の關係を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			

12、 1月	三平方の定理	20	①三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。	①三平方の定理の意味を理解し、それが証明できていることを知っている。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	三平方の定理 三平方の定理の利用	説明	
			②三平方の定理を見いだすこと。三平方の定理を具体的な場面で活用すること。	②三平方の定理を見いだすことができる。三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③三平方の定理のよさを実感して粘り強く考え、三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			
2、3 月	標本調査	16	①標本調査の必要性と意味を理解すること。コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理すること。	①標本調査の必要性と意味を理解している。コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート	標本調査	話合い、説明	社会「世論の形成」とのつながり
			②標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現すること。簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。	②標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	定期考査 小テスト テスト直し 単元レポート			
				③標本調査のよさを実感して粘り強く考え、標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。	単元レポート テスト直し 問題集の取組			

合計 140